

## C ライフライン復旧までの生活支援

ライフラインが復旧するまでの間は、水や支援物資の配給や生活情報の収集・伝達といった、生活支援の活動が欠かせません。災害時の活動場所を確保する、情報収集・伝達手段を確保するなど、生活支援の活動の準備をしましょう。

### 1 災害時活動場所の確保

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
災害時の情報伝達や備蓄物資の配給等に活用できる屋内スペースを確保する	■	—

○災害時、情報の収集・伝達や備蓄物資等の配給、負傷者の救護等、管理組合が主体となって災害活動できる場所が必要です。管理人室やエントランスホール等、情報や人が集まりやすい場所に災害時活動場所を確保しましょう。

### 2 情報収集・伝達手段の確保

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
災害時活動場所に掲示板を設置する	■	—
ラジオによる情報収集手段を用意する	■	■
インターネットによる情報収集・伝達手段を用意する	■	■

#### (1) 災害時活動場所に掲示板を設置する

○ライフラインの復旧までの生活支援において、居住者には安否確認情報、水や食料の配給情報、ライフラインの復旧情報等が必要になります。災害時活動場所となるマンションのロビーなどに掲示板を設置し、これらの情報を居住者に伝えましょう。

○災害時活動場所に掲示板がない場合は、シート型ホワイトボードなどを備蓄しておきましょう。

○ハンドマイクや無線機を備蓄しておけば、安否確認や情報伝達の際に上下移動の負担が軽減できます。



#### (2) ラジオによる情報収集手段を用意する

○災害情報収集のために、電池式のラジオを備蓄しましょう。

#### (3) インターネットによる情報収集・伝達手段を用意する

○東日本大震災において、通信回線の混雑により電話が繋がらない中で、インターネットによる情報収集や発信が役立ちました。携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、パソコン等、複数の情報収集・伝達手段を確保しておきましょう。

○けが人、病人等の安否確認、建物の被害状況、必要な物資等の支援要請の情報収集・伝達を行います。

### 3 廃棄物の対応

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
一時廃棄物集積場所を確保する	■	■

- ごみの収集が可能になるまでの間、通常のごみ置き場が一杯になった場合の一時的なごみ置き場の確保が必要になります。
- 一時廃棄物集積場所を決めておき、分別に対応したごみ箱や掃除道具を備蓄しておきましょう。高層マンションについては、高層階に集積場所を設けることが望まれます。
- 一時廃棄物集積場所が一杯になった場合は、各家庭で責任を持って保管しましょう。

### 4 日用品の確保

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
日用品を備蓄する	■	■

- 日用品を備蓄しましょう。

#### 参考

#### 備蓄する日用品の例

分類	日用品
衛生用品	マスク、ティッシュペーパー、トイレトペーパー ウェットティッシュ、歯ブラシ、石けん、ドライシャンプー オムツ、生理用品、タオル 等
防寒用品	カイロ、毛布、寝袋、アルミシート 等
汎用品	懐中電灯、ライター、マッチ、ローソク、ダンボール ビニールシート 等
掃除道具	ほうき、ちりとり、粘着ローラー、新聞紙、ポリ袋 等